

小専社会第 4 回「等高線図でみる身近な地域の地形」の作業と宿題

作業の内容

- ①配布した地形図の標高 0m の等高線を紫色の色鉛筆でなぞり、標高 0m 以下の地域を紫色で塗る.
- ②配布した地形図の標高 5m の等高線を黄色の色鉛筆でなぞり、標高 5m 以上の地域を黄色で塗る.
- ③配布した地形図から環状線の全駅の標高を読み取り下の表の該当する欄に丸を記す.
- ④国土交通省の WEB サービス「重ねるハザードマップ」(<http://disaportal.gsi.go.jp/maps/index.html#12/34.6/135.5>) を閲覧して、津波および洪水のそれぞれについて、想定されている浸水深を、環状線の全駅について読み取り、下の表の該当する欄に浸水の要因ごとに色分けして丸を記す。津波は赤で、洪水は青で、それぞれ丸を記す。「重ねるハザードマップ」の画面の左上部にある「防災情報」の「各種ハザード情報」の「津波浸水想定」および「洪水浸水想定」をクリックまたはタップすると、それぞれ表示される。なお、津波浸水想定は、拡大しすぎると表示されない。
- ⑤大阪に津波が来た場合どこが安全か、と人に聞かれたら何と答えるか？授業で学習した内容とこの作業の結果を基に、下の□に論述する。

標高（m）	15-20																			
	10-15																			
	5-10																			
	0-5																			
	0 未満																			
浸水深（m）	駅名	大阪	福島	野田	西九条	弁天町	大正	芦原橋	今宮	新今宮	天王寺	寺田町	桃谷	鶴橋	玉造	森の宮	大阪城公園	京橋	桜の宮	天満
	5.5-6.0																			
	4.0-5.5																			
	3.0-4.0																			
	2.0-3.0																			
	1.0-2.0																			
	0.5-1.0																			
	0.1-0.5																			
	0.1 未満																			

大阪市内に津波が来た場合、どこが安全か？

質問、疑問、意見